

<アイディアのねらい>

発想や構想に関する資質・能力を活用・発揮しながら、自分の気持ちや性格などを基に自己紹介カードをつくることで、形や色、材料などに関わりながら創造的に表す力を育成する。

<授業の展開例>

○自分の今の気持ちや性格について言葉で表す。



○気持ちや格を表す言葉を基にイメージしたことをカードに絵で表す。



○カードを見せながら、友達と紹介し合う。



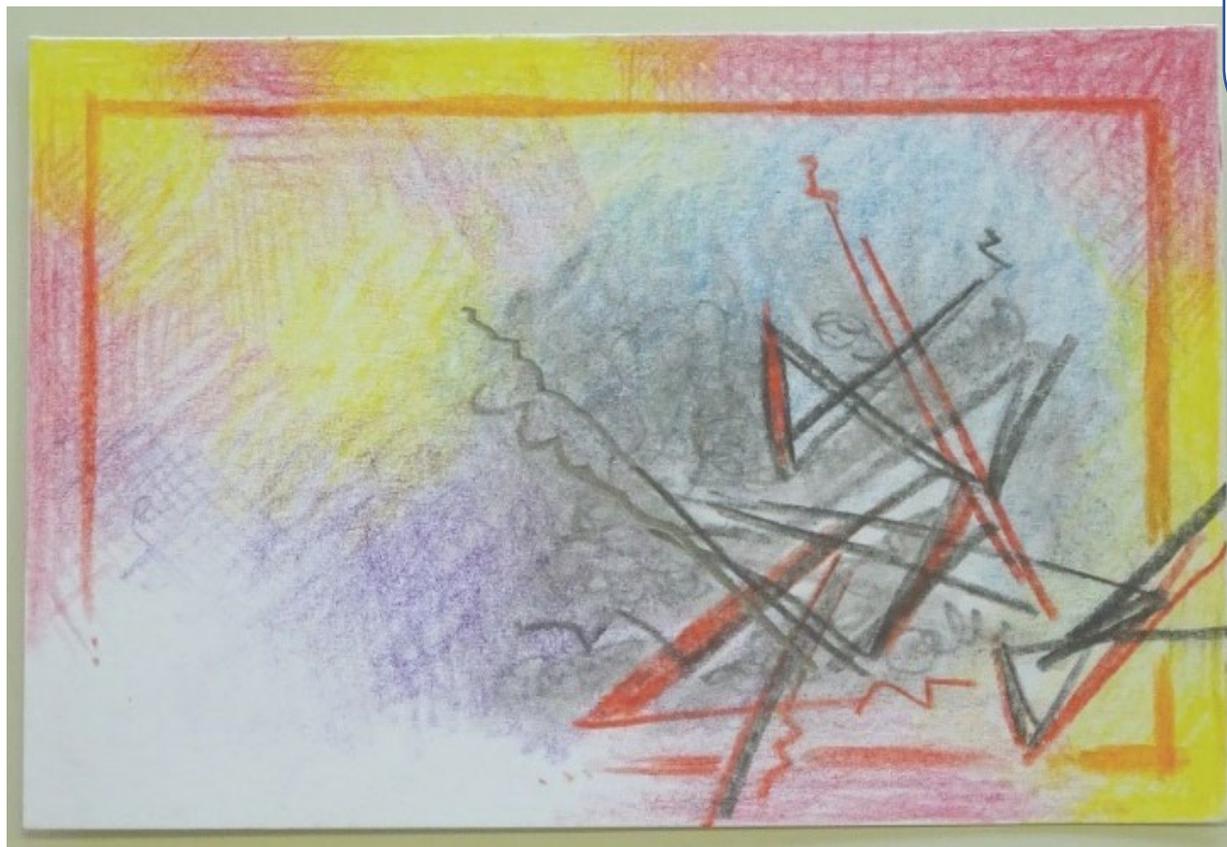
形や色、材料などに関わりながら創造的に表す力を育成

<講座の様子>



中心の円は自分自身を表しています。外側に伸びている突起は様々な人と関わっていきたい自分の積極性を表しています。外側から中心に向かっていく水色の点描は、私を支えてくれる大切な人たちを表しています。

<講座の様子>



頑張ろうという気持ちを黄色で、モヤモヤした嫌な感情を右下に黒色やギザギザした線で表しました。完璧でありたい気持ちを赤い四角で表しましたが、まだ未完成の自分は左下の空白です。

<留意点>

導入では、形や色で自分の気持ちや性格を表すことを伝え、活動に必然性をもたせながら課題を提示しましょう。

発想や構想の場面では、児童生徒一人一人が形や色彩などの性質や、感情にもたらず効果などについて実感的に捉えられるよう、活動を価値付けましょう。

終末ではカードを持ち寄って自己紹介し合い、色や形やそれがもたらすイメージについて確かめられるようにしましょう。



<受講者の感想>

- ・ 教師の声掛けで表したいことと色や形が結び付くことを実感できた。
- ・ 自分が付けたタイトルと、友達が見て付けたタイトルを比較するのも面白そう。
- ・ 以前から形と色で自分を紹介する方法を考えていたので、とても参考になった。生徒の実態に合わせて発展させていけたらと思う。
- ・ 自分の人柄，気持ちを記号で表現することは，創造への一歩であるし，色や形が大切であることを実感した。



描いた絵を基に自己紹介し合うことで，形や色などの造形的な特徴の理解が更に深まりますね。

